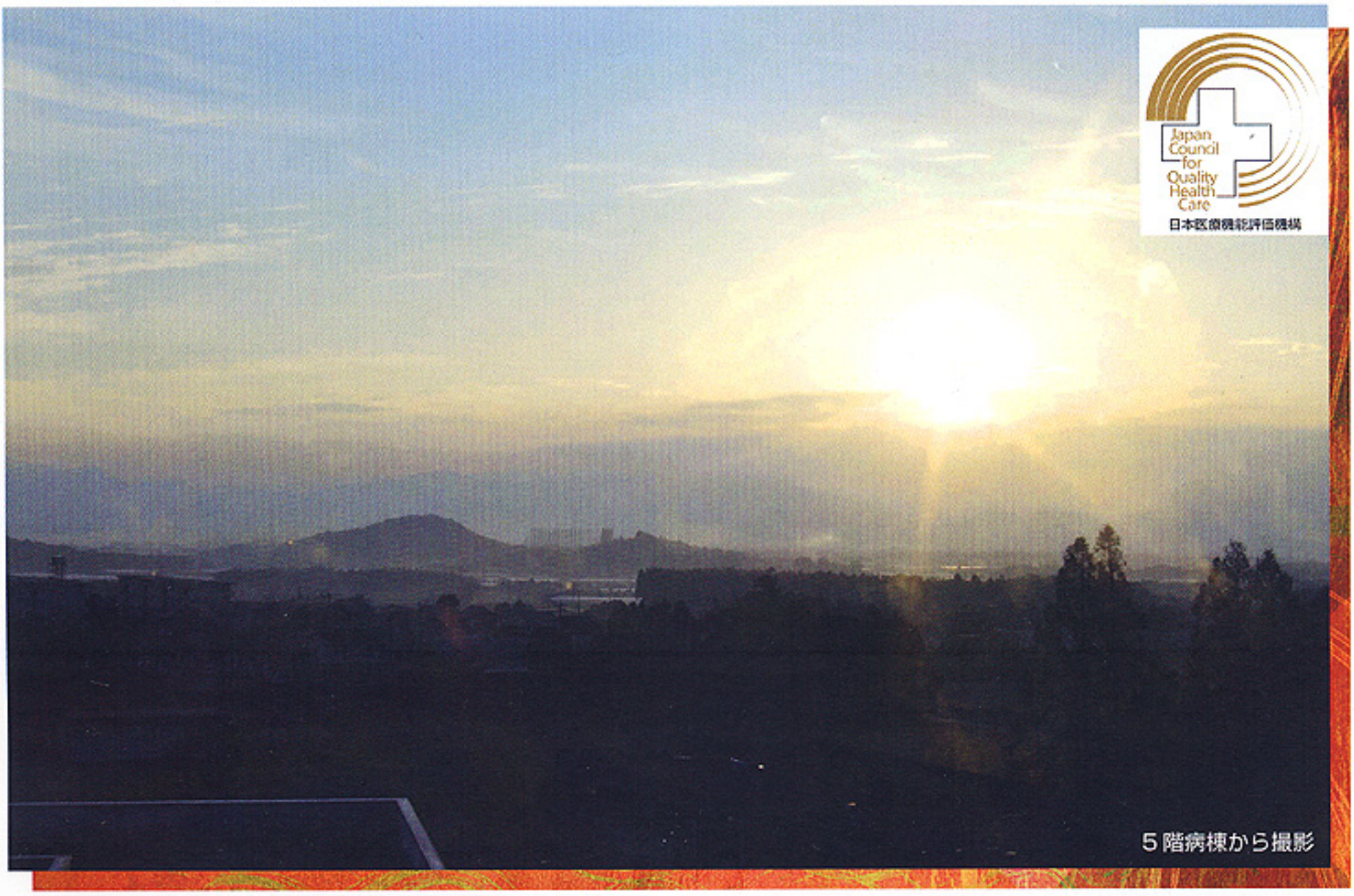
植木病院だより

Vol.8
平成19年1月

発行所 〒861-0136 熊本県鹿本郡植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117 植木町国民健康保険 植木病院 発行人 鳥越 義継



5階病棟から撮影

■ 新年に寄せて

診療報酬改定や第５次医療法改正など医療制度の根幹にかかわる変革が示されるなか、昨年は当院にとっても色々な意味で試練の年でもありました。

こういった状況の中で新しい年がスタートしましたが、今後も医療を取り巻く環境は医療を受ける側、提供する側双方にとって厳しさを増していくものと思われます。

こと提供する側の事情に限ってみても、全国的な医師、看護師不足の中で診療体制を如何に確保するかといった問題や療養病床再編問題などなど難問は山積しています。これに加えて急性期医療に対するDPC算定方式（傷病名や手術、処置等の内容に応じて分類された「診断群分類」に基づき、それぞれの分類ごとに定められた１日当たりの定額の医療費を基本として算定する方式）の導入など例年にも増して課題の多い一年になりそうです。

このような時であるからこそ、我々は地域医療の担い手という自負の下になお一層「基本理念」「基本方針」に忠実な医療に取り組んでいきたいと思います。

〔基本理念〕信頼と満足の得られる全人的医療の提供

〔基本方針〕・患者さん中心の医療　・安全医療の推進　・地域に密着した連携医療
・たゆまざる質向上と自己研鑽　・健全経営の確保

院長 鳥越 義継

部署訪問

今回は診療放射線科を紹介します。

ここ診療放射線科では、一般撮影（レントゲン検査）やCTといった放射線（X線）を使った検査、またMRIなどの検査を行なっています。CTやMRIなどの画像診断は、今の医療において重要な役割を果たしています。ここでの業務は、診療放射線技師３名、放射線科医１名（非常勤）、助手１名（放射線・生理検査受付）にて行なっています。



●検査装置

- 一般撮影用装置（X線撮影装置）
- X線TV
- CT
- MRI
- 血管造影撮影装置
- マンモグラフィー
  （検診マンモグラフィ認定診療放射線技師１名）
- 骨密度測定装置

●CTとMRI

簡単にあらわすと、CTはX線を利用して、MRIは磁気と電磁波を利用して画像を描出していきます。体の部位や、病気の種類、症状などに合わせて適切な検査法を使い分けています。また、これらの画像診断を行なう際、CTやMRIなどの専門の知識を必要とすることがありますが、当院では放射線専門の医師（非常勤）に依頼することで対応しています。

●検査に支障になるもの

金属のもの、ボタン、コルセットなど検査の際、X線写真やCT、MRIの画像の中に写ってしまい、診断に支障をきたす恐れがあります。また、MRI検査では検査室内に、携帯電話や時計、磁気カード類（キャッシュカードなど）を持ち込まれると、装置による強力な磁気の影響により、使用できなくなる恐れがあります。これらのものの取り外し、除去の協力お願いします。

●被曝を伴う検査

単純X線撮影やCTの検査などでは、X線による被曝は避けられません。しかし、それ以上に病気の診断や治療の方針をたてる際に有効な手段となります。また、診療放射線技師専門の技術をもって被曝量を抑えることに努めます。



TOPICS

「接遇研修会」が開催されました。

平成18年9月21日「医療従事者としての心構え」というテーマで、講師：冨士川俊子先生（鹿本准看護学校）による接遇研修会が行われました。18時より１時間半、接遇における基本から実習（母音トークや傾聴・聴き方のポイント）を含め、とても興味深い内容でした。また、医療従事者としてのベースを再認識する良い機会になったと思います。

参加者からは、「講義だけでなく実習を行うことで、１時間半という時間があっという間に過ぎ、講師の先生にも気軽に質問できリラックスした雰囲気で受講できた」などの声が聞かれました。

今回の研修を踏まえ、接遇に対して全てのスタッフが日常頃から意識し、「知行一致と体得」へと結びつくよう努力していきます。

診療情報便り

薬局は薬剤を安全に管理し、確実に供給する部署で、調剤、薬剤管理指導、医薬品情報(DI)、高カロリー輸液の調整（TPN）の４つを主軸に、現在薬剤師２名、助手１名にて業務を行っています。

調　剤

当院ではオーダリングシステムが導入されており、入力された処方、注射箋に基づき入院されている患者様に対して調剤を行っています。外来に関しては基本的に院外処方となっています。

処方、注射箋により必要があれば主治医に疑義照会を行い、患者様に安心して薬を服用していただけるよう日々努めています。



また保険薬局からの問い合わせに対して薬局が窓口として対応しており、薬歴確認等を行い外来へ情報をフィードバックする役目を担っています。

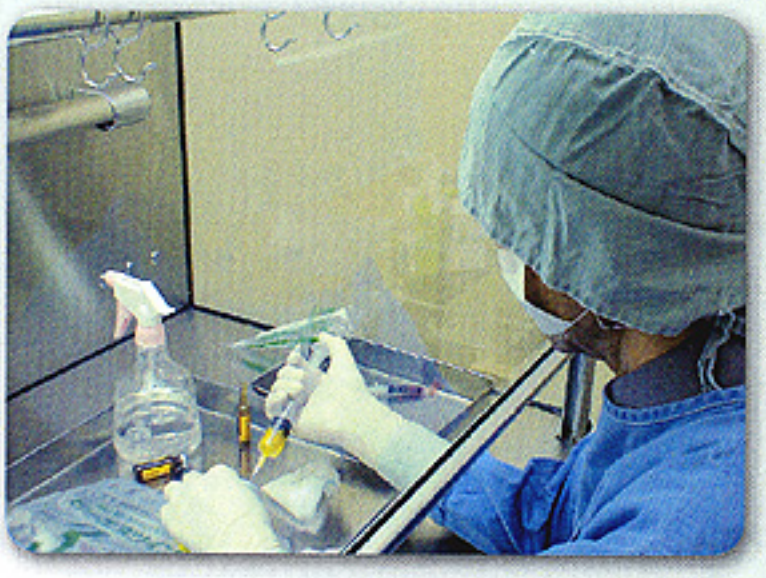
薬剤管理指導

主に急性期病棟の患者様に対して服薬指導を行っており、薬剤の説明、用法、アレルギー、副作用等を確認し、患者様のコンプライアンス向上に努めています。

服薬指導した患者様の病状、既往歴、薬歴、検査データ、指導内容をパソコン入力し個別に整理しており、また指導内容をカルテにファイルしています。

医薬品情報（DI）

医薬品集の作成や、厚生労働省、メーカー等からの添付文書の改正、副作用情報等、必要な情報を院内に提供しています。



高カロリー輸液の調整（TPN）

無菌製剤室の清潔なクリーンベンチにて輸液の調整を行っています。

適正な使用管理、正確な調整、抗がん剤による職員の汚染防止のため、先々では抗がん剤無菌調整も対応していかなければならない課題です。

その他

・薬事審議会、感染委員会、医療安全推進部会等の会議が院内にて毎月行われており、薬局部門として病院の機能改善に努めています。

・栄養サポートチーム（NST）
症例を検討し、回診を行い患者様の栄養状態の適正化を図り、疾患、症状の改善を目的として、各部門参加で行っています。

・患者様の苦情による対策、待ち時間の短縮、業務円滑等を目的とし、情報交換の場として近隣保険薬局と月１回協議会を開いています。

外来からのご案内

◇健診科
①人間ドック（オプション有ります。）
　●日帰りコース　●通院2日コース　●1泊2日コース
②生活習慣病予防健診
③企業健診
④乳がん検診　触診とマンモグラフィー（町の助成金有り）
（お問い合わせは、国保植木病院
医事係　TEL096-273-2111内線101）

◇健康教室:3ヶ月に1回（5月・8月・11月・2月に実施予定）
内　容:食事会と講演会
場　所:国保植木病院　2階会議室

◇糖尿病教室:毎月第1・2・3木曜日　国保植木病院2階会議室
（お問い合わせは、国保植木病院　外来内科
TEL096-273-2111（内線140）

外来診療のご案内

（平成19年1月15日現在）

診療科＼曜日	午前午後	診察室	月	火	水	木	金	土
内科	午前	第一診察室	勇	勇	勇	勇	勇	担当医
		第二診察室	山城	合志	合志	山城	合志	
循環器科		循環器診察室	新冨	鶴田	上村	鶴田	福永	
外科		外科診察室	鳥越	久米	犬塚	久米	髙橋	担当医
整形外科		整形診察室	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣	
脳神経外科		脳外科診察室				担当医		
神経内科	午後	脳外科診察室				担当医		
午後総合診療科	午後	外科診察室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	

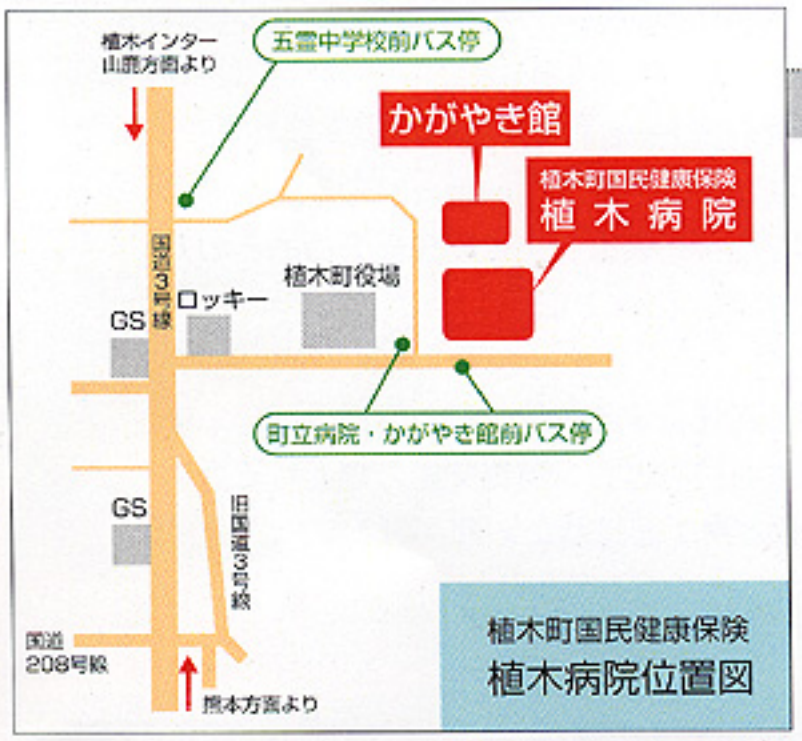
① 午後は総合診療科として担当医が対応し、必要な場合は各科医師が対応します。
② 土曜日は外科・内科で各科担当医が対応します。
③ 脳神経外科は第2・第4木曜日の午前中のみです。
④ 神経内科は第1・第3木曜日の午後(15時～17時)のみです。
⑤ 当院では再診予約制を取っております、診察時に次回予約を取って下さい。
また、予約変更の電話については、午後にお願いします。

診 察 日:月曜日 ～ 土曜日
休 診 日:土曜日の午後・日曜日及び祝祭日
年末年始(12月29日から翌年1月3日)
受付時間:平　日／午前 8:30 ～ 午前 11:30
午後 1:00 ～ 午後　4:30
土曜日／午前 8:30 ～ 午前 11:30
※ただし、急患の方は、これに限らず対応致します。

地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」を平成14年12月に開設しましたので、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
担当者：前田 由美
電　話：TEL096－273－2111（代表）
096－272－0854（直通）
FAX096－272－0854（直通）



植木町国民健康保険
植木病院位置図

交通アクセス

九州産交バス

「町立病院・かがやき館前」バス停下車
熊本ー山鹿線をご利用の方は、
「五霊中学校前」バス停下車徒歩5分

乗　用　車

・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道　植木インターから10分

編集後記

高校時代の友人とまさに修学旅行以来（数十年前）京都に旅行しました。

「秋の京都」紅葉目当てで向かった京都でしたが、今年は気温が高く中旬～下旬、しかも例年にくらべ色も今ひとつと聞きがっかりでしたが、多数あるお寺の中でまずライトアップされた高台寺（通称ねねの寺）を歩き、少し贅沢をして人力車で高台寺周辺から祇園のまちに向かいました。人力車の方の詳しい説明もあり歴史を振り返ることが出来ました。

夜の祇園ではかなり確率が低いといわれている舞妓さんに３人遭遇することが出来ました。最後に昼間の金閣寺。写真で見た金閣寺がそのまま姿を現し、感動しっぱなしでした。

最近小さい子供の子育てより大きい子供の子育てが難しいとつくずく感じ、落ち込んでいた私にはこの一泊二日の旅はいいリフレッシュ休暇になり（日頃からリフレッシュしていると思われがちな私ですが）すばらしい思い出になりました。

５階病棟　姫